



Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

# 地域創造レター

7月号—No.338

2023.6.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



西宮市民会館アミティ・ベイコムホール(兵庫県西宮市)  
アートforキッズ「プリンセスコンサート」  
撮影:大西二士男

## ●目次 / contents

### 特集「2023年夏のフェスティバル」

フェスティバルカレンダー.....2

夏休み子ども企画カレンダー.....4

地域通信.....7

財団からのお知らせ.....9

「地域創造フェスティバル2023」参加者募集/令和6年度「リージョナルシアター事業」実施団体募集/「特別寄稿 ビューポイント view point」No.12掲載について/令和5年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」募集開始/令和5年度「地域創造セミナー」スタート/令和6年度「公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)」・「公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)」実施団体募集/「公共ホール邦楽活性化事業」令和6年度実施団体募集・令和5年度全体研修会報告/「市町村立美術館活性化事業」貸出協力館募集/令和6・7年度「公立美術館活性化事業」募集

今月のレポート.....16

沖縄県那覇市 那覇文化芸術劇場なはーと  
「舞台制作者向けハラスメント防止講習会」



# 特集「2023年夏のフェスティバル」



恒例の「夏のフェスティバル特集号」の季節となりました。話題の大型企画から定番イベントまで、一挙にご紹介します。

## 2023年7月～9月 フェスティバル カレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。  
☉は会場、☉は問い合わせ先です。  
(➡は地域創造助成事業)

### 音楽

●札幌市 7月12日～8月1日  
パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌2023

世界を代表する音楽家を教授陣に迎え、オーディションで選ばれた22カ国・地域の74名の若手音楽家が世界中から札幌に集結する国際教育音楽祭。野外で楽しむ名物のピクニックコンサートをはじめ、オーケストラ、アンサンブルなど、本格的なコンサートからカジュアルなものまで約25公演が行われる。最終日には東京公演も開催。

☉札幌コンサートホールKitara、札幌芸術の森、サントリーホール(8月1日)ほか

☉パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)組織委員会

Tel. 011-242-2211

●秋田県秋田市、潟上市  
6月11日～11月12日

第2回秋田・潟上国際音楽祭2023

活気あるまちづくりを目指す秋田発の音楽祭。「世界から秋田へ、そして秋田から世界へ」をテーマに、海外からも多数のアーティストを招聘する。7月15日の公演では、潟上市出身で本音楽祭のアーティストディレクターでもある千田桂大が出演、秋田出身である橋本五郎を招き、文化のあり方について考えるトークショーも行われる。

☉秋田芸術劇場ミルハス ほか  
☉秋田・潟上国際音楽祭実行委員会 Tel. 018-874-9215

●群馬県草津町  
8月17日～30日

第43回草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル

1980年から続く講習会と演奏会から成る夏の音楽祭。今年は「プラハとウィーン 二つの楽都 ドヴォルジャークとブラームス」をテーマに開催。10名以上の世界的な音楽家を招へいし、会期中は毎日多彩な演奏会が開かれる。招へいた音楽家によるアカデミーは事前申し込み不要の公開レッスンもあり、開かれた学びの場となっている。

☉草津音楽の森国際コンサートホール

☉群馬草津国際音楽協会 草津夏期国際音楽アカデミー事務局 Tel. 03-5790-5561

●東京都豊島区 8月5日、6日  
TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2023(サラダ音楽祭)

「Sing and Listen and Dance～歌う!聴く!踊る!」をコンセプトに、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる音楽祭として2018年にスタート。コンドルズと東京少年少女合唱隊、東京都交響楽団が共演する0歳から入場可能な「OK!オーケストラ」、Noismの金森穰と井関佐和子が華麗なダンスを披露する管弦楽組曲を含むメインコンサート「スターバト・マーテル」など、フレッシュで多彩なプログラムを展開。

☉東京芸術劇場ほか  
☉サラダ音楽祭事務局(株式会社トリートン内)

Tel. 03-5422-9511

(平日10:00～18:00)



OK!オーケストラ(指揮:大野和士)

●川崎市 7月22日～8月11日  
フェスタサマーミュージック  
KAWASAKI 2023

今年で19年目となる真夏のクラ

写真

左上: 蓼科高原音楽祭(長野県茅野市)

右上: 中之条ビエンナーレ(群馬県中之条町)

左下: 川崎市民プラザ「夏休みこどもわくわくDAY」

右下: 神戸文化ホール「こどもコンサート」

シックの祭典。コロナの収束が見えてきた今年は、原点回帰を合言葉に「一期一会の音楽をライブで楽しむ」を柱に音楽を届ける。東京交響楽団のオープニングコンサートから始まり、ミュゼが誇る日本最大級のパイプオルガンの演奏やバレエ公演など、さまざまな内容で「新しい聴き方・楽しみ方」を提案する。

📍 ミュゼ川崎シンフォニーホール Tel. 044-520-0200

●新潟県佐渡市

8月18日～20日

アース・セレブレーション2023

佐渡島の小木地区を中心に開催される野外フェスティバル。特設ステージでは、コロナ禍を経てようやく出演がなかった南アフリカのアカベラコーラスグループ The Voice of South Africaと鼓童によるライブが行われるほか、ワークショップやハーバーマーケット、キャンプやアウトドアコンテンツなどのアクティビティも企画されている。

📍 小木みなと公園、城山公園ほか  
📍 アース・セレブレーション実行委員会 Tel. 0259-81-4100

●富山県南砺市

8月25日～27日

スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド2023

「音楽を通しての異文化交流」をテーマに、世界各国の文化との出会いと交流の場をつくりながら、地域に根差した音楽文化の創造を目指す市民参加型フェスティバル。今年はコンゴ民主共和国やゴラン高原、コロンビア、韓国など国内外アーティストによるコンサートやワークショップ、市内小中高生や市民楽団が全国から一堂に会するパレードなどを予定。

📍 南砺市福野文化創造センターほか

📍 スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド実行委員会事務局  
Tel. 0763-77-3817

●石川県金沢市 8月19日

IMA2023スペシャル・フェスティバル・コンサート

1998年から著名な講師陣のレッスンにより世界レベルの若手音楽家を多数輩出しているIMA(いしかわミュージックアカデミー)が、25周年を記念して開催するスペシャル・フェスティバル・コンサート。2022年にIMAで優秀な成績を収めた受講生や、原田幸一郎音楽監督とIMA卒業生による特別編成オーケストラが出演し、質の高い演奏をお届けする。

📍 石川県立音楽堂  
📍 いしかわミュージックアカデミー実行委員会事務局  
Tel. 076-225-1372

●山梨県富士河口湖町

9月15日～18日

富士山河口湖ピアノフェスティバル2023

辻井伸行をピアニスト・イン・レジデンスに迎え、富士山の麓と河口湖という大自然の中で繰り広げられる音楽祭。国内外から集まった世界で活躍するピアニストによるピアノソロ、4手連弾、オーケストラとの共演のほか、ピクニック・コンサートや美術館でのコンサートなどの無料公演も開催し、大自然の中でピアノの魅力を堪能することができる。

📍 河口湖ステラシアター、河口湖円形ホール、河口湖総合公園、河口湖美術館  
📍 富士山河口湖ピアノフェスティバル事務局 Tel. 0555-72-5588

●長野県茅野市

7月8日、15日、17日

第3回蓼科高原音楽祭

地元有志の実行委員会が企画する音楽祭。全3日間の構成で、国内外で活躍するアーティストの演奏を楽しめる。3年目の今年は、初日にチェロ奏者のマルモ・ササキ、コントラバス奏者の高杉健人によるデュオリサイタル、2日目は金子三勇士のピアノリサイタル、3日目は金子と地元の諏訪交響楽団によるオーケストラコンサートが行われる。

📍 茅野市民館

Tel. 0266-82-8222

●長野県木曾町

8月24日～27日

第49回木曾音楽祭

地区の集会所や個人の山荘などを演奏家の宿泊施設として提供、食事を地元のボランティアが準備するなど、1週間ほどの練習合宿を含めた期間、演奏家を地域住民が支える音楽祭。49回目になる今回も、国内有数の演奏家による室内楽コンサートが開催される。文化ホールで3日間行われるコンサートに加え、地元中学校の体育館でより気軽に楽しめる前夜祭コンサートを実施。

📍 木曾文化公園文化ホール

📍 木曾音楽祭実行委員会

Tel. 0264-21-1222

●長野県松本市

8月19日～9月6日

2023セイジ・オザワ 松本フェスティバル

昨年30周年を迎えた同フェスティバルは、小澤征爾総監督のもと、世界中から優れた音楽家たちが結集。今年のオーケストラコンサートは、フランスの気鋭ステファン・ドゥネーヴと、小澤とは50年来の盟友ジョン・ウィリアムズが、サイトウ・キネン・オーケストラとタッグを組む。そのほか、上質な室内楽をお届けするふれあいコンサートや、多岐

にわたるオープンイベントも多数予定。

📍 キッセイ文化ホール、まつもと市民芸術館、松本市音楽文化ホールほか

📍 セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

Tel. 0263-39-0001

●鹿児島県霧島市

7月21日～8月6日

第44回霧島国際音楽祭

今回は、音楽監督の堤剛と音楽祭初登場のピアニスト・河村尚子によるデュオコンサートでオープニングを飾る。「チェロ・オーケストラ」や「キリシマ祝祭管弦楽団」による演奏など定番プログラムに加え、藤倉大作曲の『グリーンティー・コンチェルト』が世界初演される。演奏会だけではなく、オープニングコンサート後にはビュッフェパーティーや、期間中にはマスタークラスの講習会も開かれる。

📍 霧島国際音楽ホールほか

📍 みやまコンセール

Tel. 0995-78-8000



霧島神宮かがり火コンサート

演劇・ダンス

●長野県飯田市 8月3日～6日

いいだ人形劇フェスタ2023

毎年夏に開催される日本最大級の人形劇の祭典。今年は4年ぶりの通常開催を目指す。国内外からプロ・アマチュア・学生の劇団が参加し、市全域および下伊那郡内の約140会場で人形劇公演が行われる。人形劇公演のほかにも、プロから学べる人形づくりや人形操作のワークショップ

## topics

### ●震災で分断された心を「つなぐ」 常磐線舞台芸術祭 2023

東日本大震災の被災地でもある福島・宮城・茨城県内のJR常磐線沿線を舞台に、新たな芸術祭が開催される。震災後に南相馬市に移住した作家の柳美里が2018年よりプログラム・ディレクターとして計画し、15年に開校した教育復興のシンボル・福島県立ふたば未来学園(福島県広野町)で講師等を務めてきた劇作家の平田オリザがフェスティバル・コーディネーターを務める。

コロナ禍の影響により延期を余儀なくされ、晴れて初開催を迎える今回のテーマは「つなぐ」。震災が残した爪痕は、大小そして内外を問わずさまざまな“分断”を生み、未だその影を落としているなか、舞台芸術の力をもってその分断を少しでも“つなぎ”それぞれが手繰り寄せ、地域のもつ本来の美しさや魅力を再発見し体感してもらうために企画されている。

芸術祭は7月31日～8月13日の14日間にわたって、ホール・劇場だけでなく原子力災害伝承館などさまざまな場所で開催。青年団「銀河鉄道の夜」や青森中央高校演劇部と福島県の高校生による『もしイタ～もし高校野球の女子マネージャーが青森の「イタコ」を呼んだら』などの演劇公演をはじめ、駅舎周辺でアーティスト同士がコラボレーションする「Voice on Voice」(柳美里×尾崎世界観、古川日出男×後藤正文ほか)、能楽、ワークショップ、地域を知るツアー、合唱など、20を超える多彩なプログラムが実施される。

また芸術祭プレ公演として、柳美里が主宰する劇団・青春五月党による3年ぶりの新作公演『JR常磐線上り列車—マスクー』が行われる(7月21日～28日)。

演劇・文学・音楽などを楽しみながら、常磐線沿線エリア、福島浜通りの地域や食、原発のことなども学ぶことができるプログラムとなっている。

●福島県、宮城県、茨城県 7月31日～8月13日

☎福島県、宮城県、茨城県内常磐線沿線ほか

📍常磐線舞台芸術祭実行委員会事務局

Tel. 050-1750-3402(平日10:00～17:00)

<https://joban-line-paf.jp/>

ブ、歩行者天国での人形劇団や大道芸人の公演などを開催。

☎飯田市および近隣町村の約140会場

📍いいだ人形劇フェスタ実行委員会 Tel. 0265-23-3552

●滋賀県米原市

8月5日、6日、11日、12日

芝居小屋長栄座夏のフェスティバル2023

劇場内に特設された芝居小屋

「長栄座」で3年計画で進めてきた新作プロジェクト「長栄座伝承会 むすび」がついに完結。集大成の今年は、滋賀の魅力あふれる3演目を上演。第1部では、尺八奏者の人間国宝・野村峰山が長栄座に初登場。また、日本三大弁財天をテーマとする第3部では、竹生島を主題とした新作を箏×長唄×謡の「三方掛け合い」で表現する。このほか、伝統産業展など多彩な企画

が実施される。

☎滋賀県立文化産業交流会館  
Tel. 0749-52-5111

### 美術・映像

●北海道東川町

7月25日～8月28日

第39回東川町国際写真フェスティバル

1985年に東川町が行った「写真の町宣言」をきっかけに、毎年夏に開催されるフェスティバル。写真の町東川賞授賞式、受賞作家作品展やフォーラムを中心に、全国の高校の写真部やサークルを対象にする写真大会「写真甲子園」など若手育成につながるイベントのほか、写真と異分野の文化とのコラボや、写真文化の魅力を伝えるプログラムなどを幅広く展開する。

☎東川町内各所

📍東川町写真の町実行委員会

Tel. 0166-82-2111

●群馬県中之条町

9月9日～10月9日

中之条ビエンナーレ2023

美しい里山が広がる中之条町で開催される国際現代芸術祭。アーティストは特色ある山村地域で滞在制作を行い、その成果を芸術祭で発表する。9回目を迎える今回は、国内外から111組のアーティストが参加。温泉街や木造校舎など町内約40カ所の会場で、絵画や彫刻、写真、インスタレーションなどの作品展示やパフォーマンスを行う。

☎中之条町内各所

📍中之条ビエンナーレ事務局

Tel. 0279-75-3320

### 総合

●愛知県長久手市

7月15日、16日

長久手市文化の家会館25周年記念「25th祭り」

長久手市文化の家開館25周年

を記念して、全館を使ったお祭りを開催。ホールでは、長久手出身のピアニスト・川上ミネが、長久手の10カ所の風景から10曲の作品をつくって披露するコンサートを実施。パブリックスペースでは、愛知県立芸術大学とのコラボでアートショップがオープン。そのほか、マルシェや創造スタッフのパフォーマンスなど盛りだくさんな2日間をお届けする。

☎長久手市文化の家

Tel. 0561-61-3411

### ホール・美術館

## 夏休み子ども企画 カレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。

☎は会場、📍は問い合わせ先です。

(➡は地域創造助成事業)

### 音楽・演劇・ダンス

●栃木県足利市 7月28日

「足利オペラ・リリカ」0歳も一緒に！はじめてコンサート

未就学児も楽しむことができる「親しみやすいオペラコンサート」がコンセプトのシリーズ公演。季節に合わせたプログラムを実施しており、今回は足利花火大会の開催が近いことから、「夏祭り・盆踊り」のテーマを初実施。花火のように子どもの笑い声や泣き声が出てしまってもOK。一緒に歌ったり体を動かしたりと、会場が一体となり楽しめるイベントとなっている。

☎📍あしががフラワーパークプラザ(足利市民プラザ)

Tel. 0284-72-8511

●東京都台東区 7月23日

夏休み子ども音楽会2023

上野の森文化探検

東京都交響楽団の本格的な演奏を、指揮者・大友直人による

お話しとともに楽しむことのできるコンサート。公演チケット購入者は「上野1dayパス」を利用し、動物園や博物館など、上野エリアの各施設に無料や割引で入場可能なほか、公演パンフレット持参で、連携する周囲の飲食店のサービスも受けることができる。地域の特色を活かし、上野を丸一日満喫できる公演。

📍東京文化会館

Tel. 03-5685-0650 (チケットサービス)

●横浜市ほか

7月21日～24日、30日、8月6日  
KAATキッズ・プログラム2023  
『さいごの1つ前』

昨年度好評を博した演劇『さいごの1つ前』(作・演出：松井周)を、今年度は神奈川県内巡回公演として開催。事前のワークショップで、子どもたちが作品の舞台美術を制作し、作品の1シーンを創作する。また、上演中は出演者が観客に問いかけをし、それに対して観客がアクションをする演出があるなど、観客も作品に参加できるような公演内容となっている。

📍KAAT神奈川芸術劇場(7月21日～24日)、ハーモニーホール座間(7月30日)、逗子文化プラザホール(8月6日)

📍KAAT神奈川芸術劇場  
Tel. 045-633-6500

●長野県佐久市 8月4日～6日  
キッズ・サーキット in 佐久 2023

佐久市内の6施設で3日間に25の舞台公演を行う、子どものための舞台芸術フェスティバル。ミュージカル・音楽・マジックなどさまざまな鑑賞体験を詰め込んだ多彩なラインナップ。来場者はパスポートを購入すると、気に入った公演を最大4つ巡ることができる。赤ちゃんのための舞台劇もあり、体全体で音やリズム

を楽しむほか、親子で楽しめる企画も盛りだくさん。

📍佐久市コスモホール、佐久平交流センターほか

📍キッズ・サーキット in 佐久  
実行委員会 Tel. 0267-82-3962

●静岡市 7月8日

子どものためのコンサート  
「三浦一馬 バンドネオンの世界」

「子どものためのコンサート」では、毎回さまざまな楽器に着目し、子どもたちに音楽を届けている。今回は、普段間近で見ることの少ない楽器バンドネオンの仕組みや魅力、楽しさを、若きバンドネオン奏者の三浦一馬が演奏とお話して紐解いていく。主に小学生を対象としたコンサートで、保護者と一緒に3歳から入場できる。

📍静岡音楽館AOI  
Tel. 054-251-2200

●京都市 8月5日

ALTI子どものための小さな音楽祭

今回が初回となる小さな音楽祭。「ピアノの世界」「ヴァイオリンの世界」の2つのコンサートを開催する。0歳から入場が可能で、クラシックの名曲を中心にトークを交えて演奏し、子どもたちを音楽の世界へと案内する。また、各公演前にオープニングパフォーマンスを実施するほか、ロビーではマルシェなどのイベントも開催される。

📍京都府立府民ホール アルティ Tel. 075-441-1414

●兵庫県伊丹市 8月5日、6日  
えほんミタイナえんげき  
『どくりつ こどもの国』

平成20年度に製作、21年度に地域創造の公共ホール演劇ネットワーク事業で全国4カ所を巡演し好評を博した作品を14年ぶりに上演。今回は市内施設間連

携により、1年目はアイホールでストレートプレイとして橋本匡市の演出で創作、2年目は伊丹市立文化会館で作者・岩崎正裕が初演と同じ音楽劇として演出する。「戦争」をモチーフにした本作を通して、親子が共に考えるきっかけとなる作品を目指す。

📍アイホール(伊丹市立演劇ホール) Tel. 072-782-2000



2009年上演版より 撮影：石川隆三

●兵庫県西宮市 8月5日

アートforキッズ  
「プリンセスコンサート」

「子どもが主体となり、家族と気軽にアートに触れる機会を提供したい」との思いで立ち上げられた「アートforキッズ」。今年はホールでの音楽鑑賞の楽しさだけでなく、鑑賞マナーも知ってもらいたいと考え、多くの人を魅了するプリンセスにまつわる音楽に、クラシックの名曲を織り交ぜた「プリンセスコンサート」を上演する。

📍西宮市民会館アミティ・ベイコムホール

📍西宮市文化振興財団  
Tel. 0798-33-3146

●神戸市 7月23日

こどもコンサート「不思議な森への大遠足」

0歳から入場できる神戸市室内管弦楽団、混声合唱団によるコンサート。演奏中の入退場が自由で、客席で動いたり声を出してもよく、階段のない優先入口を設置するなど、通常のクラシックコンサートよりもリラックスした環境で、年齢や障がいを超え

て誰もが本格的な音楽を楽しむことができる。開演前には、即興合奏団ワークショップを受けた子どもたちによるプレパフォーマンスも実施。

📍神戸文化ホール

📍神戸市民文化振興財団  
Tel. 078-361-7241

●岡山市 8月4日～27日

野良のあそび箱in夏休みⅥ  
～ホールを原っぱにしてあそぼう～

一般公募の小学生30人が、夏休みの13日間、西川アイプラザをあそび場にして「音楽劇」をつくり上げる。子どもが本来もっているエネルギーが遺憾なく発揮される場を提供しようと、市民の有志が企画し、岡山で活躍するアーティストと中高生などが子どもたちをサポートしながら実施されている。最後に公演を行い、観客と「いまここに一緒に生きている」瞬間を共有する。

📍岡山市西川アイプラザ

📍「野良のあそび箱in夏休み」  
実行委員会  
Tel. 086-234-5877



昨年の公演『ロミオとジュリエット』

●沖縄県那覇市

7月24日～30日

りっかりっか\*フェスタ(国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ 2023)

1994年に初開催され、その後は幾つか小規模なフェスティバルを経て、2005年からは毎年開催されているファミリーのための国際舞台芸術フェスティバル。21回目を迎える今回は、招待作品と

## topics

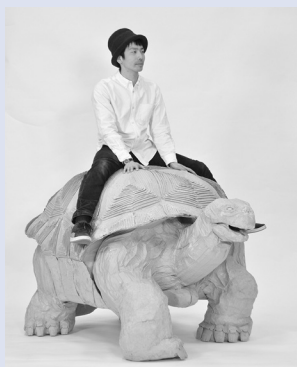
### ● 釧路で楽しむ、表情豊かな生き物たちの展覧会 釧路市立美術館「いきもの会議」

釧路市立美術館では、年に数回、地域ゆかりの作家を取り上げた展覧会を実施しています。今回はその粋組みのひとつとして、私たちに身近な「いきもの」をテーマに、道東出身の3名の作家の作品を展示します。

この展覧会開催にあたりキーパーソンともなった竹本万亀は、自然や街の中にうごめく生き物を、滑らかな曲線と独特の模様を駆使した切り絵で表現しています。釧路市出身・在住の田塚麻千子は、動物園をめぐる、そこで出会った個体のふとした表情や毛並みなどの質感を写実的に描写する画家です。等身大の、まるで木彫りのように見える吉田傑の作品は、骨組みから皮膚のバリエーションまで、すべて段ボールを素材にしています。なお本展で使用される材料の一部は、地元の企業より提供されています。

生き物たちの表情や皮膚感を表現することに長けた3名の作品が集まる本展では、「どうぶつたちの井戸端会議」と題したゆるやかなコラボレーション作品の制作も計画中とのことです。

また、展覧会の関連事業として、切り絵体験やギャラリートークのほか、館が所有するバスを利用し、釧路市動物園へのバスツアーも行います。動物園ボランティアのガイドにより、目一杯生き物たちを観察したあとは、その日に貰える割引券を使い、アートによる動物園ともいえる本展を楽しむことができます。自然や生き物たちの息遣いを感じられるような、夏休みにぴったりの展覧会です。



●北海道釧路市 7月15日～8月27日  
☎️ 釧路市立美術館  
Tel. 0154-42-6116  
<https://k-bijutsukan.net/>

吉田傑  
《GARAPAGOS GIANT TORTOISE》

して9カ国10作品が上演される。リトアニアのダンスカンパニーによるノンバーバル作品など、0歳から大人まで楽しめる作品が集うほか、フリンジ公演や青少年のための舞台芸術についてのシンポジウムなども開催される。

☎️ 那覇市内各所

☎️ ぴっかりっか\*フェスタ事務局  
Tel. 098-943-1357

## 美術

### ● 和歌山県和歌山市

7月11日～9月10日

### 企画展「なつやすみの美術館13 feat. 橋本知成」

2011年より続く「なつやすみの美術館」は、大人も子どもと一緒に、時代やジャンルもさまざまに、美術を楽しむことを目的にした展覧会。今年は、金属を含

む釉薬を用いて重厚感のある陶芸作品を手掛ける、県出身の橋本知成を迎えて開催。所蔵作品と一緒に展示が行われる。主に近隣の学校の先生たちが参加している「和歌山美術館教育研究会」が作成したワークシートも会場で配布する。

☎️ 和歌山県立近代美術館  
Tel. 073-436-8690

### ● 香川県高松市

7月14日～9月3日

### 夏休み子どもミュージアム 動物図鑑

夏休み恒例の子どもミュージアム。今回は動物をテーマに猪熊弦一郎の《月と猫達》や市村力の《鳩》など、動物が登場する作品を紹介する。動物園に行くような気軽さで子どもも大人も楽しめるよう、鑑賞を手伝う質問や説明を加えて、キャプションを工夫。夏休み期間中は、子ども向けイベントも多数企画。

☎️ 香川県立ミュージアム  
Tel. 087-822-0002

### ● 熊本県小国町

7月22日～11月26日

### コレクション・リーディングvol.7 「おぐに美術部と作る善三展 『好きなものを好きって言う』 with 森美術館」

2021年に始まった地元中高生による地域部活動「おぐに美術部」。本展は中学3年生を中心に集大成として、部員が収蔵品から好きな坂本善三作品を選び展示。同時に「どうしてこの作品が好きなのか」という問いから自身を見つめ直し、部員も映像、体験型展示などさまざまな手法で表現を試みる。部員と、森美術館が募ったユース世代によるオンライン交流が展示にどう活かされるかも見どころ。

☎️ 坂本善三美術館  
Tel. 0967-46-5732

## 総合

### ● 埼玉県富士見市 7月8日、9日 キラリ☆ふじみ サーカス・バザール

アートや地域の魅力にふれながら、大人も子どもも新しい出会いと発見ができる夏恒例の地域交流イベント。12回目の今年も、地域の特産物を販売するバザールと、ホールでのサーカスショーや水上ステージ、アーティストによるワークショップや音楽隊とサーカス団の回遊パレードなど、イベントが盛りだくさん。

☎️ 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ  
☎️ キラリ財団  
Tel. 049-268-7788

### ● 川崎市 7月29日

### 夏休み子どもわくわくDAY

夏休みの自由研究にもぴったりのワークショップ。事前申し込み制で、「森のフィールドワーク&親子de工作」や「プログラミングであそぼ〜マタタラボを走らせよう〜」など4つのプログラムを提供する。各プログラムは対象年齢別に開催され、保護者も参加できる。

☎️ 川崎市民プラザ  
Tel. 044-888-3131

### ● 岐阜県多治見市

7月22日、23日

### 夏休みこどもパーク

市内各施設・市民団体・関係団体が連携して行う、子ども向け体験イベント。「0才からのおんがくかい」では、ポピンズシアターがジャングルと海を舞台に目と耳と身体とで楽しめる創作ミュージカルを各日開催。また、個人・団体により、遊びを通じて子どもたちの創造性や表現力が刺激される体験ができるブースが展覧される。

☎️ パロー文化ホール(多治見市文化会館) Tel. 0572-23-2600

## ▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

## 地域通信

### ●掲載情報について

最新の情報は主催者の発表情報をご確認ください。

### ●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

### ●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川  
[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知  
[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山  
[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知  
[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

### ●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。  
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093  
letter@jafra.or.jp  
地域創造情報担当 林・管藤

### ●2023年9月号情報締切

7月21日(金)

### ●2023年9月号掲載対象情報

2023年9月～11月に開催もしくは募集されるもの

### 北海道・東北

#### ●宮城県名取市

名取市文化振興財団  
〒981-1224 名取市増田字柳田520

Tel. 022-384-8900 岩崎行輝

<https://bunka.natori.or.jp/>

#### フラメンコの魂

#### ギター、歌、踊りの競演

世界の民族音楽から、バイレ(踊り)が女性に人気のスペインの情熱のフラメンコライブを開催。古典派ギターの達人であり、世界有数の伴奏の名手であるエンリケ坂井の声がけで、ギターに江戸裕、久保守、バイレに荻野リサ、三枝雄輔、藤井かおる、特別ゲストに佐藤佑子を迎え、ギター、カンテ(歌)、バイレが共演するフラメンコの魅力をお届けする。

[日程] 7月2日

[会場] 名取市文化会館

#### ●福島県会津若松市

会津風雅堂  
〒965-0807 会津若松市城東町12-1

Tel. 0242-27-0900 山宮勇

<http://aizu-bunka.jp/>

#### 第九回市民参加のてづくり舞台

1996年の開館当初から歴史上の事象や人物を題材に製作を続け、数年ごとにさまざまな作品を上演してきた企画。今回は、江戸時代に佐瀬与次右衛門によって書かれた農業指南書『会津農書』を題材に、都会から会津に移住してきた新規就農者たちと地元住民との関係性を描く。出演は高校生から70歳代まで23人の市民。出演者、スタッフ、関



第八回市民参加のてづくり舞台『長い、会い直し～會長幾星霜～』(2018年7月)

係者が一丸となり昨年11月からの稽古・準備の成果を披露する。

[日程] 7月22日、23日

[会場] 會津風雅堂

### 関東

#### ●千葉県市川市

市川市文化振興財団  
〒272-0025 市川市大和田1-1-5

Tel. 047-379-5111 田所久仁子

<https://www.tekona.net/yoshizawa/>

#### さかざきちはる

#### ペンギンアパートメント

JR東日本「Suicaのペンギン」や千葉県のマスコットキャラクター「チーパくん」の生みの親である市川市出身のイラストレーター・さかざきちはる。2017年の「世界展・おしごと展」に続き3回目となる今回は、ライブワークにしているペンギンのイラスト原画を紹介。都内で開催した「ペンギン100態」展の作品に加え、新たに500点が描き下ろされ、1,000点の原画を前後期に分けて500点ずつ紹介する初の展覧会となる。会場には5棟のアパートメントが出現し、そこに暮らすペンギンの表情をのぞき見できる空間設計も見どころ。

[日程] 5月30日～7月9日

[会場] 市川市芳澤ガーデンギャラリー

### 北陸・中部

#### ●新潟市

新潟市芸術文化振興財団  
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel. 025-224-5811 星野・田村

<https://www.ryutopia.or.jp/onbun/>

#### おんぶんりレーコンサート2023

1997年から開催されている恒例のコンサート。街の音楽家たちが次々に登場し、多様な音楽をお届けする。また、お楽しみ企画として、観客からの投票で観客賞を決定する取り組みも実施

し、観客賞に選ばれた演奏者のうち公開可能な演奏は、期間限定でオンライン上にて公開される。令和となってからは、希望者がタスキをかけて演奏することで、音楽を人から人へ、また未来へつないでいく。

[日程] 7月1日、2日

[会場] 新潟市音楽文化会館



2022年観客賞の〔あと一步〕演奏の様子

#### ●岐阜県可児市

可児市文化芸術振興財団  
〒509-0203 可児市下恵土3433-139

Tel. 0574-60-3311 小谷猛

<https://www.kpac.or.jp/>

#### アール未来の演奏家プロジェクト2023

2014年から始まった、2名のアーティストが5日間可児に滞在して地域の人々と交流しながら音楽づくりをしていくプロジェクト。交流イベントとして、小学校へのアウトリーチや公開リハーサル、公開レッスンなど幅広く企画。コンサート当日は事前のワンポイントレクチャーとアフタートークがあり、クラシック音楽に接する機会の少ない方でも楽しめる内容となっている。

[日程] 7月5日～9日

[会場] 可児市文化創造センターala

#### ●静岡市

静岡県文化財団  
〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1

Tel. 054-203-5714 小澤彩

<https://www.granship.or.jp/>

#### 落語・講談・浪曲で震える夏

夏らしい怪談物を、日本の三大

話芸である落語・講談・浪曲で語る企画。落語家の立川談笑、林家つる子、講談師の神田阿久鯉、浪曲師の玉川奈々福が暑い夏にぴったりな“怪談噺”をたっぷりお届けする。シリーズ化し、ファンが多い「グランシップ寄席」の中でも怪談企画は初めての試み。毎年、話芸のアウトリーチを県内の小学校で行っており、子どもも大人も本公演にも足を運んでもらおうと企画された。

[日程]7月23日

[会場]静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

#### ●愛知県知立市ほか

パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)

〒472-0026 知立市上重原町間瀬口116

Tel. 0566-83-8100 福田裕之  
<https://patio-chiryu.com/>

#### 伊藤キム「ダミーズ」

言葉や文字を音列やリズム・ハーモニーに変換し身体の動きと融合させる、ダンスの枠をはみ出す取り組みを続けている伊藤キム5年ぶりの新作ソロダンス。「全国あちこちキム増殖プロジェクト」と題して、出身地・知立のほか、ゆかりのある会館と連携・協働し、各地域に合った内容で開催する。また、市民が参加するプログラムも実施し、多くの市民に芸術鑑賞および体験の機会を提供する。

[日程・会場]6月23日～25日:世田谷パブリックシアター/7月16日:パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)/9月10日:宮古市民文化会館/9月15日:高知市文化プラザかるぼーと/9月30日:富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

#### 近畿

#### ●奈良県奈良市

奈良県立美術館

〒630-8213 奈良市登大路町10-6

Tel. 0742-23-3968 飯島礼子  
<https://www.pref.nara.jp/11842.htm>

#### 富本憲吉展のこれまでとこれから

1973年、奈良県立美術館の開館を飾った「富本憲吉展」。半世紀にわたって継続し収集してきた富本作品は約170件になる。開館50周年を記念し15回目の開催となる今回は、初期から晩年までの作品を、館外からの作品も加え富本の生涯を紹介するほか、今まで開催してきた富本展のポスターなどを展示し、50年の美術館の歩みをたどる。

[日程]7月8日～9月3日

[会場]奈良県立美術館

#### 中国・四国

#### ●岡山市

岡山県立美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48

Tel. 086-225-4800 廣瀬就久  
<https://okayama-kenbi.info/>

#### 岡山県立美術館35周年収蔵品展「CORRELATION—交流と継承」

開館35年を迎えた岡山県立美術館の特別展。古くは室町時代・雪舟の作品から現代美術まで、絵画、彫刻、工芸など計130点の収蔵品を展示し、同時代で交流する美術、過去から現代まで継承する美術を、12のテーマに分けて紹介する。期間中毎週土曜日には、学芸員による自身の担当エリアについての解説があり、知識も深めながら楽しむことができる。

[日程]5月19日～7月2日

[会場]岡山県立美術館

#### ●徳島県徳島市

徳島県文化振興財団

〒770-0835 徳島市藍場町2-14

Tel. 088-622-8121 宇野栄展

<https://kyoubun.or.jp/>

#### Re.あわ文化 DISCOVER

#### 阿波人形浄瑠璃

徳島の人々が400年以上育み守ってきた「あわ文化」である阿波人形浄瑠璃の普及と発信のために毎年開催している特別公演。プロの指導を受けた県内学校の成果発表会をはじめ、県内の歴史ある人形座、太夫部屋による古典的な演目の公演、さらにダンスや音楽などの他ジャンルと浄瑠璃がコラボしたオリジナル作品の披露など、さまざまな切り口で阿波人形浄瑠璃の魅力伝える。

[日程]7月22日、23日

[会場]あわぎんホール

#### ●高知県高知市

高知県立美術館

〒781-8123 高知市高須353-2

Tel. 088-866-8000 中谷有里

<https://moak.jp/>

#### 没後40年 中島敬朝展

画業前半を京都で活動し、戦争を機に故郷・高知に疎開して以降、高知で日本画の指導者的役割を果たした日本画家・中島敬朝(1898～1983)。没後40年を記念し、新たに遺族から寄贈を受けた作品を含む約50点の作品と約10点の資料で画業全体を振り返る。京都時代に手掛けた花鳥画から、風景画家として大成した高知時代の作品まで、多彩な作品を楽しむことができる。

[日程]5月27日～7月23日

[会場]高知県立美術館

#### 九州・沖縄

#### ●熊本市

益城町文化会館

〒861-2242 上益城郡益城町木山381-1

Tel. 096-286-1511 米原誠司

<https://mashiki-culturehall.net/>

#### 清和文楽「肥後アマビエ戀歌異聞(こいうたいぶん)」

浄瑠璃好きの村民が淡路の人形一座から人形を購入したのが始まりで、現在熊本県に残る唯一の人形浄瑠璃として重要無形文化財に認定されている清和文楽。今回上演される「肥後アマビエ戀歌異聞」は、2020年に雪女の人形を熊本ゆかりの妖怪「アマビエ」に変化させたことをきっかけに制作された作品で、熊本デザイン専門学校の学生が衣装を手掛けるなど、地元との関わりも深い全3景の大作。

[日程]7月8日

[会場]益城町文化会館



『肥後アマビエ戀歌異聞』

#### ●鹿児島県鹿児島市

鹿児島市立美術館

〒892-0853 鹿児島市城山町4-36

Tel. 099-224-3400 前野耕一

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>

#### 小企画展「みなもをめぐる一水の表現を味わう」

水の表面を意味する「みなも(水面)」に焦点を当てた所蔵作品展。これまで多くの芸術家によって、さまざまな主題の中で川や海、雨などの情景として表現されてきた「水」を、「生活をめぐる」「水景をめぐる」「様式・意匠をめぐる」と、切り口の異なる3つのテーマで紹介する。水の表現に投影された心情や美しさ、表現技巧など、幅広い視点で水の表現を味わうことができる。

[日程]5月30日～7月23日

[会場]鹿児島市立美術館



## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

### 財団からのお知らせ

- 「地域創造フェスティバル2023」  
[日程] 7月24日(月)~26日(水)  
[会場] 東京芸術劇場  
(東京都豊島区西池袋1-8-1)  
[申し込み方法] 地域創造ホームページ  
「参加登録フォーム」からお申し込みください。  
<https://www.jafra.or.jp/project/festival/01.html>  
[問い合わせ] 芸術環境部 藤原  
Tel. 03-5573-4183

### ●「地域創造フェスティバル2023」参加者募集

地域創造が取り組んでいるさまざまな事業を紹介するとともに、公共ホールや自治体の皆さんが事業を企画・実施する上で参考となる情報を提供することを目的として、「地域創造フェスティバル2023」を7月24日~26日の3日間、東京芸術劇場(東京都豊島区)で開催します。全国の皆様のご参加をお待ちしております。

※事前申し込み制です。一部のプログラムは定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

募集締切:7月14日(金)必着

### 地域創造フェスティバルのみどころ

#### ◎おんかつ支援プレゼンテーション (公共ホール音楽活性化支援事業)

おんかつ支援の登録アーティスト55組が、音楽との新しい出会いを地域へ届けるため工夫を凝らした演奏とトークを、一組約25分の持ち時間の中で披露します。

#### ◎ダン活プレゼンテーション (公共ホール現代ダンス活性化事業)

令和6年度ダン活登録アーティスト7組による、ダンスパフォーマンスや、ワークショップのデモンストレーションを鑑賞いただけます。

#### ◎シンポジウム「アウトリーチの今とこれから~地域文化施設におけるアウトリーチ・ワークショップの成果や効果~」(令和4年度調査研究事業報告)

公立文化施設が実施するアウトリーチやワークショップが参加者の意識や生活、公立文化施設の運営等にどのような影響を与えてきたのか、成果や効果に関する調査研究を令和4年度に実施しました。今回はその報告を行うとともに、アンケート調査の結果や、特徴的なアウトリーチを行う公立文化施設の取り組みを紹介することで、アウトリーチの今とこれからの考えます。

#### ◎おんかつ・邦楽セミナー

おんかつ・邦楽事業を実施してきた、あるいはこれから実施を検討したいという方を対象に、「導入編」「応用編」それぞれのテーマに分かれて、グループワークを行います。

### 「地域創造フェスティバル2023」プログラム

\*詳しいプログラム内容やタイムスケジュールは同封チラシまたは地域創造ホームページをご覧ください。  
\*出演者および出演日等は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

7月24日(月)	7月25日(火)	7月26日(水)
	<ul style="list-style-type: none"><li>●シンポジウム [モデレーター] 吉本光宏(文化コモンズ研究所) [調査研究事業報告] 大澤寅雄(文化コモンズ研究所) [パネリスト] 千葉真弓(北上市文化交流センターさくらホール)、坂内佳子(りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館)、吉松寛子(北九州芸術劇場)、有門正太郎(演出家・俳優)</li><li>●ダン活プレゼンテーション 藤田善宏、井田亜彩実、康本雅子、長与江里奈、大島匡史朗、中村蓉、浅井信好</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●おんかつ・邦楽セミナー [ファシリテーター] ●おんかつコーディネーター: 赤木舞、菊地俊孝、桜井しおり、多田淳之介 ●邦楽事業コーディネーター: 伊藤由貴子、米澤浩</li><li>●助成・事業説明会 地域創造助成要綱、公立美術館活性化事業、リージョナルシアター事業の説明を行います。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●おんかつ支援プレゼンテーション [ピアノ] 新居由佳梨、新崎誠実、岩崎洵奈、高橋ドレミ [弦楽器] 神谷未穂、北島佳奈(ヴァイオリン) [管楽器] 荒川洋、吉岡次郎(フルート)/高見信行(トランペット)/加藤直明(トロンボーン)/喜名雅(チューバ) [声楽] 竹多倫子(ソプラノ)/糸賀修平(テノール) [打楽器] 野尻小矢佳(パーカッション&amp;ボイス) [その他] 松尾俊介(クラシック・ギター)/川田健太(箏・三味線・唄) [アンサンブル] デュエットウカナエ&amp;ゆかり(ピアノデュオ)/Dual KOTO×KOTO(箏デュオ)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●おんかつ支援プレゼンテーション [ピアノ] 酒井有彩 [弦楽器] 甲斐摩耶、坂口昌優(ヴァイオリン)/海野幹雄、加藤文枝(チェロ) [管楽器] 森岡有裕子(フルート)/大石将紀(サクソフォン) [声楽] 梅津碧(ソプラノ) [打楽器] 大熊理津子、塚越慎子(マリンバ)/新野将之(パーカッション) [その他] 片岡リサ(箏)/福島青衣子(ハーブ)/小林史真(ハーモニカ)/山本奈央(オカリナ) [アンサンブル] 泉真由×松田弦(フルート&amp;クラシック・ギター)/Quatuor B(サクソフォン四重奏)/Buzz Five(金管五重奏)/BLACK BOTTOM BRASS BAND(ブラスバンド)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●おんかつ支援プレゼンテーション [ピアノ] 金子三勇士、今野尚美、齊藤一也、佐々木京子、中野翔太 [弦楽器] 石上真由子、高橋和歌(ヴァイオリン)/奥田なな子(チェロ) [管楽器] 田中拓也、田村真寛(サクソフォン) [声楽] 乗松恵美(ソプラノ)、ヴィタリ・ユシュマノフ(バリトン) [打楽器] 宮本安子(打楽器・マリンバ) [その他] 藤重奈那子(箏・地歌三味線)/棚原健太(歌三線) [アンサンブル] デュオ・レゾネ(クラリネット&amp;ピアノ)/アーバンサクソフォンカルテット、Quartet SPIRITUS(サクソフォン四重奏)</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●情報交流会 アーティストや全国の公立文化施設の方々との交流ができます。情報交換や、ネットワークづくりにぜひご参加ください。</li></ul>		

\*おんかつ支援プレゼンの出演時間および出演順は現在、調整中です。

## 財団からのお知らせ

### ●「特別寄稿 ビューポイント view point」No.12掲載について

地域創造ホームページ限定で、有識者やキーパーソンから文化芸術および公立文化施設等におけるチャレンジな取り組みを寄稿していただくコーナー「特別寄稿 ビューポイント view point」。新たに安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄 館長の磯田憲一氏にご寄稿いただきました(6月15日更新)。

<https://www.jafra.or.jp/library/other/6902.html>

◎問い合わせ  
芸術環境部 林  
Tel. 03-5573-4093



### ●令和6年度リージョナルシアター事業

#### ◎アドバイザー

- 内藤裕敬(劇作家・演出家、南河内万歳一座座長)
- 岩崎正裕(劇作家・演出家、劇団太陽族代表)

◎問い合わせ  
芸術環境部 石本・栗林  
Tel. 03-5573-4124  
[regional@jafra.or.jp](mailto:regional@jafra.or.jp)

※実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/theater/02.html#boshu>

## ●令和6年度「リージョナルシアター事業」実施団体募集

演出家や俳優(以下、派遣アーティスト)を公共ホールに最大3回派遣し、公共ホールとともに演劇の手法を使ったワークショップを企画・実施する「リージョナルシアター事業」の参加団体を募集します。

この事業では、学校等の施設を訪れて子ども等を対象にワークショップを行うアウトリーチや、ホール等で多様な参加者に応じたワークショップを実施します。地域のニーズやホールの目指す方向性に合わせて自由に企画することができ、地域の課題に取り組むことが可能になります。また、公共ホール等スタッフの企画・制作能力の向上、ホールの活性化も期待できます。

令和6年度から新たに3名の派遣アーティストが加わり、8名のアーティストによる多様なアプローチで事業を展開していきます。

これまでの事業では、小中学校でのアウトリーチや、公募した市民とともに街歩きやホール探検をして地域・ホールの魅力を再発見する

ワークショップ、行政職員や教員の研修として行うワークショップなど、多岐にわたるプログラムを実施しています。

各地域での事業実施前には参加団体と派遣アーティストによる研修会を実施します。過去の事例紹介やワークショップ体験、事業実施に向けた打ち合わせを行いながら、各地域の課題や展望を共有していきます。

演劇の手法を使った新しい取り組みへの挑戦や、派遣アーティストの新しい視点を活用したいというホールの皆様のご応募をお待ちしています。詳細は当財団ホームページをご覧ください。

<https://www.jafra.or.jp/project/theater/02.html>

募集締切:8月10日(木)必着

地域創造公式YouTubeチャンネルでは令和4年度リージョナルシアター事業の山形県酒田市・福島県白河市の取り組みを配信中!ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/l6b3ykn3y-Y>



### リージョナルシアター事業 派遣アーティスト(\*は新規アーティスト)



©Masahiro Hasuo

有門正太郎(演出家・俳優、有門正太郎プレゼンツ主宰)



\*越智良江(劇作家・演出家、演劇ユニットKOKOO主宰)



ごまのはえ(劇作家・演出家、ニットキャップシアター代表)



\*志賀亮史(演出家、百景社代表)



多田淳之介(演出家、東京デスクロック主宰)



田上豊(劇作家・演出家、田上パル主宰)



©伊藤華織

\*樋口ミュウ(劇作家・演出家、Plant M主宰)



福田修志(劇作家・演出家、F's Company代表)

\*アーティストプロフィールは下記のURLよりご確認ください。  
[https://www.jafra.or.jp/fs/5/6/3/1/3/\\_/\\_\\_\\_\\_\\_2023\\_\\_\\_\\_\\_5.22.pdf](https://www.jafra.or.jp/fs/5/6/3/1/3/_/_____2023_____5.22.pdf)

## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

### 令和5年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」募集開始

地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く周知することにより、公立文化施設の活動のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的としています。ご応募をお待ちしています。

募集締切:2023年7月19日(水)

#### ●表彰対象

- 開館から概ね5年を経過している(廃校施設等の転用施設を含む)
- 地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績を挙げている
- 条例により公の施設として設置および管理されている
- 以下の①～⑤を主な活動分野としている文化施設
  - ①音楽分野
  - ②演劇・ダンス分野
  - ③伝統芸能分野
  - ④美術分野
  - ⑤その他(文化・芸術の新機軸となり得る創意工夫をこらした文学、歴史などで①～④の分野と連携しながら継続的に事業を展開していると認められるもの)

#### ●審査の主なポイント

- 地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか
- 先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか
- 地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働(コラボレーション)に意欲的に取り組んでいるか など

#### ◎実施要領・応募方法

「実施要領」「応募書」は当財団のホームページからダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/award/01.html#boshu>

都道府県・政令指定都市は当財団に直接ご応募ください。市区町村は、当財団のホームページに掲載した都道府県の担当課を経由して提出してください。

◎問い合わせ 総務部 三田・内田

Tel. 03-5573-4184 taishou@jafra.or.jp

### ●令和5年度「地域創造セミナー」スタート

文化・芸術による創造性豊かな地域づくりと文化芸術関係者の広域的な連携強化のため、地域創造が都道府県主催のセミナーへ講師を派遣する地域創造セミナーがスタートしました。

今年度第1回は5月24日に、福島県とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)で開催され、帝塚山大学名誉教授で自治体文化政策の第一人者である中川幾郎さんに、「～現場から考える公立文化ホールのこれから～」というテーマでご講演いただきました。現代における公立文化ホールの役割や文化事業を実施する上で欠かせない視点など文化政策の基礎や、文化芸術による地域振興を行う特徴的取り組みなど、具体例を交えて紹介。経済的に充たされた(経済的ゆとり)、余暇(時間のゆとり)の中の文化という考え方の根本的なカベを取り払い、市民一人ひとりの「文化権」実現のための公立文化ホールの

あり方を考えました。またWEBアンケートを実施し、参加者からの質問を募集。集まった質問をリアルタイムで共有し、答えていく時間を設け、講師と参加者が双方向にコミュニケーションをとることができる講演会となりました。

今年度の地域創造セミナーは千葉県、愛知県、高知県でも開催の予定です。



地域創造セミナー福島(中川幾郎氏)

#### ●「地域創造セミナー」に関する問い合わせ

芸術環境部 管藤  
Tel. 03-5573-4066

## 財団からのお知らせ

### ●令和6年度「公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)」実施団体募集

公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)は、オーディションで選ばれたクラシック音楽のアーティストと専門家のコーディネーターを公共ホールに派遣し、ホールとアーティストが共同で企画した学校や福祉施設等での地域交流プログラムやコンサートを実施することにより、公共ホールの利活用の促進やホールスタッフの企画・制作能力の向上、創造性豊かな地域づくりを支援するものです。アーティストは下記「登録アーティスト」より選定していただきます。

**募集締切:2023年9月8日(金)必着**

#### ◎対象団体

- ①市町村(特別区を含み、政令指定都市を除く)
- ②市町村の公共ホール指定管理者 など

#### ◎対象アーティスト

2023・2024年度「公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)」登録アーティスト

#### ◎事業内容

3日間の連続した日程で、次の事業を実施する。  
 [地域交流プログラム]学校や福祉施設等でのミニコンサートやワークショップなど、地域との交流を図る事業 4回(1日につき2回)  
 [公演]公共ホールで開催する有料のクラシック音楽コンサート 1回

#### ◎経費負担・支援内容

演奏家派遣経費(出演料、現地移動費を除く交通費、宿泊費等)/地域交流プログラムに係る経費(主にピアノ調律費:10万円限度)/コーディネーターの派遣/全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)および個別研修(現地下見)の実施  
 ※詳細は実施要綱等をご確認ください。

### ●令和6年度「公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)」実施団体募集

公共ホール音楽活性化支援事業(おんかつ支援)は、“おんかつ”または公共ホール邦楽活性化事業の実施団体を対象とした、最大5か年まで実施可能なフォローアッププログラムです。前述の事業で得たノウハウを活用し、引き続き同様の事業を行う市町村等に対して財政的に支援します。要綱等の資料は、対象団体に送付させていただきます。

**募集締切:2023年9月8日(金)必着**

#### ◎対象団体

おんかつ(おんかつ支援、発展継続(支援)、文化庁連携事業を含む)または公共ホール邦楽活性化事業過去に実施した市町村等(特別区を含み、政令指定都市を除く)。ただし、おんかつ、公共ホール邦楽活性化事業または地域創造の他の事業を原則として10年以内を実施していること。

#### ◎対象アーティスト

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト

#### ◎支援内容

以下の①および②に係る経費の支援1年目:2/3、2年目以降:1/2を地域創造が助成します。  
 (※対象経費上限は100万円。助成割合は過去のおんかつ等事業実施状況を勘案し決定)

#### ①演奏家に係る経費

出演料およびマネジメント料(上限あり)、交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、楽器運搬費(現地楽器運搬費を除く)、損害保険料

#### ②地域交流プログラムおよび公演に係る経費

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

#### ●「公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)」に関する問い合わせ

芸術環境部 矢嶋  
 Tel. 03-5573-4064  
 onkatsu@jafra.or.jp

#### ●「公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)」に関する問い合わせ

芸術環境部 天野  
 Tel. 03-5573-4185  
 onkatsu@jafra.or.jp

※導入プログラムおよび支援プログラムの実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。

[導入プログラム]

<https://www.jafra.or.jp/project/music/01.html>

[支援プログラム]

<https://www.jafra.or.jp/project/music/03.html>

### 2023・2024年度「公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)」登録アーティスト



いまだ あつし  
 今田 篤 [ピアノ]



みずたに ももこ  
 水谷 桃子 [ピアノ]



うまだ じゅんこ  
 上田 純子 [ソプラノ]



にしむら きよし  
 西村 悟 [テノール]



かんき げんすけ  
 関喜 弦介 [クラシック・ギター] カメハ [パーカッションデュオ]



モデトロ・サクソフォン・アンサンブル  
 [サクソフォン四重奏]

## ● 令和6年度「公共ホール邦楽活性化事業」実施団体募集

公共ホール邦楽活性化事業は、オーディションで選ばれた邦楽演奏家とコーディネーターを公共ホールに派遣し、ホールと演奏家が共同で企画した地域交流プログラムやホールプログラムを実施することにより、公共ホールの利活用の促進や、ホールスタッフの企画・制作能力の向上、創造性豊かな地域づくりを支援するとともに、日本の伝統音楽の継承発展に寄与することを目的としています。邦楽はハードルが高いと感じているホールの皆様も、ぜひ当事業をご活用ください。

**募集締切：2023年9月8日(金) 必着**

### ◎対象団体

- ①市町村(特別区および政令指定都市を含む)
- ②市町村の公共ホール指定管理者 など

### ◎事業内容

原則、3日間の連続した日程で、次の事業を実施する。  
 [地域交流プログラム] 学校や福祉施設等でのミニコンサートやワークショップなど、地域との交流を図る事業 4回(1日につき2回)

[ホールプログラム] 公共ホールで開催する有料の邦楽コンサートまたは公募型ワークショップ 1回

### ◎経費負担・支援内容

演奏家派遣経費、地域交流プログラムにかかる経費(楽器運搬費など)、コーディネーターの派遣、全体研修会および個別研修(現地地下見)の実施

※詳細は実施要項等をご確認ください。登録演奏家の情報は、7月に当財団ホームページに掲載予定です。

## ● 令和5年度「公共ホール邦楽活性化事業」全体研修会報告

地域創造では、「公共ホール邦楽活性化事業」を令和3年度からスタートしました。5月10日～12日には今年度事業を実施する7団体を対象にした全体研修会が実施されました。

初日にセレノグラフィ(地域創造ダン活支援登録アーティスト)によるコミュニケーションワークショップで親交を深めた担当者たちは、アウトリーチや邦楽の基礎についてのレクチャーを受講。2日目には、地域に派遣される令和4・5年度登録演奏家の川田健太さん(箏、三絃)、藤重奈那子さん(箏、地歌三絃、十七絃)、棚原健太さん(歌三線)が助演者と共にプレゼンテーションを行いました。

続いて、演奏家も含めた参加者向けに行われた実施団体によるプレゼンテーションでは、「調布は新宿から近く、利便性と歴史のあるまち。映画産業が立地し、深大寺や桐朋学園もある。学園には日本音楽専修があるので、この事業を通して共に地域をつくる可能性を模索したい」(調布市)、「財団としてはいろいろやっているが中央区文化センターとして邦楽に取り組むのは初めて。市民にその魅力を感じてもらえるよう定期的にできる企画が考えられれば」(神戸市)、「合併により長浜市には7つもホールがあり、運用を見直しているところ。木之本スティックホールは町立でスタートし、地元には和楽器系製造会社があることから、邦楽事業に力を入れていきたい」(長浜市)、「鼓童の研修所で和太鼓を学び、演奏活動しながら宇土市民会館の職員をしている。宇土高校和太鼓部、奇祭・雨乞い大太鼓などの資源もある。

熊本地震で建て替えた新市役所のホールにアプローチしたい」(宇土市)、「三郷市には神楽、太鼓、獅子舞など豊かな伝統芸能が伝わっている。昨年開催した邦楽チャレンジ事業の和楽器体験には定員の倍近い申し込みがある」(三郷市)、「鴈治郎一門で歌舞伎俳優をしていたが、財団職員に転身した。食わず嫌いをなくして、子どもたちに邦楽の土台をつくりたい」(河内長野市)、「昨年、日常に文化があるまちづくりを目指して三田市文化芸術ビジョンが策定された。多数の民話が伝承されているし、フルートのまちとしてコンクールやフェスティバルも実施。市内全小学校で行っているアウトリーチで邦楽の要望があった」(三田市)など、各15分という短い時間ながらお互いを知り合う貴重な時間となりました。

この3日間の研修を経て、地域資源を再発見したり、企画づくりのヒントを得た担当者が、演奏家と協同で企画をどう実現していくのでしょうか。ぜひ近隣で実施される邦楽事業の取り組みにご注目ください。



全体研修会の様子

### ● 令和5年度「公共ホール邦楽活性化事業」実施団体一覧(全7団体)

- 埼玉県三郷市
- 東京都調布市
- 滋賀県長浜市
- 大阪府河内長野市
- 兵庫県神戸市
- 兵庫県三田市
- 熊本県宇土市

### ● 「公共ホール邦楽活性化事業」に関する問い合わせ

芸術環境部 仕田  
 Tel. 03-5573-4078  
 hougaiku@jafra.or.jp

## 財団からのお知らせ

### ◎[I]「市町村立美術館活性化事業」

#### 参加申し込み方法

参加を希望する市町村立美術館が、直接地域創造に申し込みます(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要)。なお、参加決定後に共同巡回展実行委員会を設立していただきます。また、事業の参加に当たっては、準備年度に開催される実行委員会・学芸担当者会議への出席にかかる経費等についての予算措置が必要です。

### ●「公立美術館活性化事業」に関する問い合わせ

総務部 三田・管藤  
Tel. 03-5573-4184  
bikatsu@jafra.or.jp

●各事業の詳細については、実施要綱をご確認ください。各実施要綱および申請書類は、当財団ホームページからダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/>

### ◎「市町村立美術館活性化事業」

#### 貸出協力館を募集します

令和8年度(令和7年度準備)以降に開催する共同巡回展のための協力館を募集します。都道府県、政令指定都市設置の美術館もご応募可能です。協力館には、収蔵作品の貸出や、巡回展開催のために助言等を行うアドバイザーに就任等をお願いしています。

本事業では西洋美術や版画、工芸、写真、現代美術等、多様なジャンルの展覧会を23回開催し(令和4年度までの実績)、美術館の連携促進、共同事業の可能性を広げることによる公立文化施設の活性化を目指してきました。また、巡回展は全国各地の美術館3~4館程度を約1年かけて開催しますので、収蔵作品活用の機会になります。詳細は上記担当までお問い合わせください。

## ●令和6・7年度「公立美術館活性化事業」募集

公立美術館活性化事業における4事業5種類のプログラムについて、参加館を募集します。

募集締切:2023年11月30日(木)

### [I] 令和6年度準備・7年度開催 「市町村立美術館活性化事業」

この事業は、地域創造が提示する公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展を、市区町村の設置する美術館が共同で実施するものです。参加館で実行委員会を結成し、準備年度である令和6年度は学芸担当者会議等を行い、アドバイザーの助言のもと、企画の具体化や調査研究、制作実務を参加館で分担して進めます。そして令和7年度に巡回展を開催します。

地域創造は、準備年度・開催年度の2か年

### ●「水からはじまるアート展」企画について

島国である日本に暮らす私たちにとって、水はとても身近な存在です。海や川、湖として目にするのもあれば、雨や雪、雲、霧などといったかたちで接することもあります。人間はもとより、動物や植物の生命を支え、ときに脅威ともなりえるのが、水といえるでしょう。美術の世界においても、水は重要なモチーフのひとつです。ゆらぎ、流れ、辺りのものを映し出し、生命の根源となる存在として、アーティストの創作意欲をかきたて、数多くの魅力的な作品が生まれ出されてきました。

「水からはじまるアート」と題した本展では、「水」をテーマに、北海道立釧路芸術館のコレクションのなかから作品を選びすぐりご紹介します。「自然と芸術」「地域と芸術」「映像芸術」を収集活動の柱とする同館には、さまざまな分野の水にまつわる名品が収蔵されています。例えば日本画では、流れ落ちる滝と水煙が生み出す幽玄な世界を表した千住博の代表作《ウォーター・フォール》や、雲の一部が虹色に輝いて見える神秘的な気象現象をとらえた岩橋英遠の《彩雲》。油彩画では、ゆらめく水面を描いたスーパーリアリズム絵画の第一人者・上田薫の《流れS》。さらに同館が誇る写真コレクションには、写真、現代美術、建築など分野を超えて活躍を続ける杉本博司のライフワークとして知られる、世界各地の水平線を写した《SEASCAPES》シリーズや、米国人写真家ユーージ

にわたる助成に加え、アドバイザーの派遣や制作実務に対する助言等により、事業の実施をサポートします。

今年度募集するのは、令和7年度に開催予定の共同巡回展「北海道立釧路芸術館所蔵 水からはじまるアート展」(仮称)への参加館です。「映像芸術」「自然と芸術」「地域と芸術」を収集の基本方針とする北海道立釧路芸術館の所蔵作品を借用し、「水」をテーマとした展覧会の開催を目指します。身近な存在である「水」がテーマならば企画の切り口も広がり、いろいろなことができそうだということで今回テーマとして選定しました。例えば、「海」や「川」、「湖」、「滝」などから各地域それぞれの名所や自然環境へとアプローチをしたり、展覧会や、会期中に開催する地域交流プログラムを通じて環境問題やSDGsを考える機会につなげることもで

ン・スミスの助手としても知られた森永純による、東京のドブ川の川面を独自の造形感覚でとらえた《河一累影》など、日本の現代写真を語る上でも重要な作品が含まれています。

本展をきっかけに、多くのアーティストが惹きつけられた水の魅力に触れていただくとともに、美術の多様な表現に親しんでいただく機会となれば幸いです。

(北海道立釧路芸術館 学芸主幹 村山史歩)



岩橋英遠《彩雲》(1979年/149.8×210.5cm)

### ●北海道立釧路芸術館

釧路・根室圏の新しい芸術文化の拠点として1998(平成10)年10月に開館。優れた芸術作品や芸術活動を紹介し、北国の個性的な文化の形成を目指す活動を展開しています。コレクションは、「映像芸術」、「自然と芸術」、「地域と芸術」が収集の基本方針。写真作品、自然をテーマとする作品、釧路・根室地域等と関連する作品の収集を進めています。

## ▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

きるかもしれません。また、今回貸出協力をいただく釧路芸術館の所蔵作品には、油彩画や日本画、写真等多様なジャンルを含みますので、作品の取り扱い等を学ぶ機会にもなります。ぜひ、ご参加をお待ちしております。

### [II-①] 令和6年度準備・7年度開催

#### [公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)]

### [II-②] 令和6年度開催

#### [公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)]

3館以上の公立美術館が共同で自主的に企画・制作による、公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展に対し助成します。

「2か年プログラム」は、令和6年度に企画の具体化や調査研究、出品交渉やカタログ編集等の準備作業を行い、令和7年度に巡回展を開催する事業を対象とし、準備年度150万円、開催年度2,000万円を上限に助成します(なお、開催年度助成金については、決定額の50%までの前金払い請求が可能です)。

「単年度プログラム」は、令和6年度に開催される共同巡回展について、A.作品借用・展示関連経費への助成と、B.図録作成経費への助成のどちらかをご選択いただき、A.については

500万円、B.については300万円を上限に助成します。

### [III] 令和6年度実施

#### [公立美術館共同巡回展企画支援事業]

2館以上の公立美術館による、「公立美術館共同巡回展開催助成事業」の申請に向けた、企画内容の検討や調査研究等の取り組みを支援します。学芸担当者会議の開催や調査活動のための経費に対し、100万円を上限に助成するほか、アドバイザーの派遣、会議室の提供、他の参加館募集の告知等による支援も行います。

### [IV] 令和6年度実施

#### [公立美術館共同地域交流プログラム助成事業]

2館以上の公立美術館が共同で企画する、公立美術館の所蔵品を活用した地域交流プログラムの実施に対し、100万円を上限に助成します。参加館や他の公立美術館のコレクションを活用した展覧会(異なる展覧会も可)に関連し、各館の展示内容やテーマ(作家、素材、技法、様式、モチーフなど)をもとに自主的に企画・実施される地域交流プログラムが対象です。

#### ◎[II-①][公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)]申請方法

- 準備年度:各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。
- 開催年度:準備年度に助成決定を受けた共同巡回展実行委員会より申請します。

#### ◎[II-②][公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)]申請方法

- 各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。

#### ◎[III][公立美術館共同巡回展企画支援事業]および[IV][公立美術館共同地域交流プログラム助成事業]申請方法

- 各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(指定管理者制度を導入している施設の場合に限り、設置者である地方公共団体の長の副申が必要)。なお、実行委員会の設立は必要ありません。

事業名		対象となる美術館(*1)	申請について	助成措置		
				助成率(*2)	上限額	助成期間
[I]	市町村立美術館活性化事業	市区町村(政令指定都市を除く)の設置する美術館	参加を希望する各市町村立美術館より申請 ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度:10/10 開催年度:2/3	準備年度:100万円 開催年度:1,200万円	2年間
[II-①]	公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)	都道府県、政令指定都市、市区町村の設置する美術館	3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる) ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度:2/3 開催年度:2/3	準備年度:150万円 開催年度:2,000万円	
[II-②]	公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)		3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	2/3	作品借用・展示関連:500万円 図録作成関連:300万円	
[III]	公立美術館共同巡回展企画支援事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	10/10	100万円	1年間
[IV]	公立美術館共同地域交流プログラム助成事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	10/10	100万円	

\*1 公立美術館活性化事業における美術館とは、博物館その他を含め、美術作品の公開および保管を行う施設をいいます。

\*2 [I]の開催年度および[II-①]については、対象経費の合計額から収入を控除した額の助成率です。その他については、対象経費の合計額に対する助成率となります。

## ▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

### 沖縄県那覇市

## 那覇文化芸術劇場なは一と 舞台制作者向け ハラスメント防止 講習会



講習会で話す植松侑子さん

#### ●舞台制作者向けハラスメント防止講習会

【主催】那覇市  
【企画制作】那覇文化芸術劇場なは一と、合同会社syuz'gen  
【会期】2023年5月27日  
【会場】那覇文化芸術劇場なは一と 大スタジオ  
【講師】植松侑子(特定非営利活動法人Explat理事長、合同会社syuz'gen代表社員)

ハラスメントとは、一般的に「他の者を不快にさせる言動、他の者の安心・安全な環境を害する言動、また、言動への対応によって条件等で不利益を与える行為等の総称」(ロームシアター京都ガイドライン)と定義されている。

近年、人手不足などを背景に、安全・安心な労働環境への一層の配慮が求められるようになり、2020年6月にパワハラ防止を大企業に義務化した「労働施策総合推進法(通称：パワハラ防止法)」が施行された。22年4月からは中小企業にも適用され、小規模事業者の多い舞台芸術業界においても環境整備が必須となった。今回はその参考として、那覇文化芸術劇場なは一とが主催した「舞台制作者向けハラスメント防止講習会」(5月27日)の様態を紹介する。

講師は上級ハラスメント対策アドバイザーに認定されている植松侑子さん(特定非営利活動法人Explat理事長、合同会社syuz'gen代表社員)だ。限定20人で公募し、地元の劇団主宰者、映画製作者などが4時間にわたって受講した。

植松さんは、「誰かの意見を否定しない」「ここでの個人的な話は外に持ち出さない」といった講習会のルールを確認。その後、ハラスメントに関する法令やそれに基づく雇用主(事業主)・労働者の責務の説明、演劇の稽古場での

ハラスメントの特性、一般的なハラスメント類型、クリエイションの現場でハラスメントを起こさないためのキーワード【心理的安全性】【認知のゆがみ】の解説、ハラスメント事案が発生した時の対応などについて丁寧に伝えていた。

「弁護士や各種コンサルタントがさまざまな角度から研修を行っているが、演劇制作の現場を知っている立場から噛み砕く必要を感じてアドバイザーになった。異なる思考の癖＝認知のゆがみをもったいろいろな人が集まる稽古場でコミュニケーションのルールを確認しないまま稽古を始めるのは、ウォームアップなしに試合を始めるようなもので、怪我をする。ハラスメント防止は心理的安全性が担保された創作環境の中でクオリティの高い作品づくりに挑戦し、個人が成長できるようにするための手段。職務上必要な指示や指導ができなくなるわけではなく、メンバーみんなが前提を共有し、研修＝抑圧にならないようにするべき。ハラスメントはとにかく起こさないことが命なので、まずは【ガイドラインの作成】【稽古のなるべく早い段階での研修】【相談窓口の設置】という防止3点セットに取り組んでほしい」

講習会を企画したなは一との土屋わかこさんは、沖縄のアーティストと県外のアーティストを繋げてクリエイションする自主企画「出会いシリーズ」などのプロデューサーだ。

「10月に京都の和田ながらさん(演出)を招いて、地元の新垣七奈さん(出演)、兼島拓也さん(ドラマトゥルク)、丹治りえさん(美術)など一人芝居をつくる。和田さんからの提案もあり、座組の皆さんと別作品に携わる人も交えて関係者向けのハラスメント防止講習会を実施した。こういった講習の重要性を知ってほしいと思い、植松さんには今回、相談窓口にも入っていただく。劇場全体として取り組むことが理想だと思うが、まずは自分がプロデュースする現場で必ず実施したいと思っている」

講習会を終えて、こうした研修が消防訓練のようにあたり前のルール確認として劇場で行われるような時代になったのだと実感した。

(坪池栄子)

#### ●ハラスメントに関する法整備

労働施策総合推進法は、1966年に雇用対策法を改正し、労働者が生きがいをもって働ける社会の実現を目的として制定。正式名称は「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律」。2019年5月の改正により、20年6月から大企業に対するパワーハラスメントの防止が義務づけられ、それまで努力義務とされていた中小企業に対しても22年4月から義務化された。99年4月には「男女雇用均等法」において「女性労働者に対するセクシュアルハラスメント(セクハラ)防止のための配慮義務」がスタートし、07年4月に「男女労働者に対するセクハラ防止の措置義務」に改正。17年1月の施行において「マタニティハラスメント(マタハラ)防止の措置義務」が追加された。また、「女性活躍・ハラスメント規制法」「育児・介護休業法」においても、ハラスメント防止が強化された。

#### ●ハラスメント防止等の取り組み例

映画・演劇の製作配給・興行を行う東宝(株)では社内におけるハラスメント対策だけでなく、2022年12月から東宝主体で製作されるすべての映画作品において撮影開始前にハラスメント研修を実施し、外部弁護士による相談窓口を設置すると発表(現在

は演劇においても新作・再演の稽古開始段階でハラスメント研修を実施)。また、22年6月には東宝など映画産業の関係者・関連団体が参画した「一般社団法人日本映画制作適正化機構(<https://www.eiteki.org/>)」を設立。実写映画が適正な現場環境で製作されたことを認定する「適正作品認定制度」をスタートした。劇場・演劇については、ロームシアター京都、アゴラ劇場、豊岡演劇祭などがハラスメント防止ガイドラインを公開している。

#### ●演劇の稽古場でハラスメントが起きがちな理由(講習会より)

- 演出家が方法論や指導のための言葉をもっていない
- 長時間の共同作業
- 権力関係、権力勾配
- 徒弟制度の性格(先生と生徒のようなメンタルな関係)
- 感情を扱う芸術、過激な演技
- 役の関係性(夫婦役、恋人役、親子役、敵同士など、役作りに必要だと言われてプライベートな時間にもその関係を要求される)
- 個人情報共有
- まず作品ありきになりがち(人がいて作品があることを自覚する)